

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と事業効果

No.	事業名	主な内容	実施状況	事業効果	決算額 (円)	財源内訳 (円)		
						臨時交付金	その他の 特定財源	一般財源
1	地域の感染状況等を踏まえ、たきめ細かい医療提供体制等構築事業	診療所での感染予防、拡大防止対策として外来患者との接触減・院内衛生強化を目的として、発熱者隔離用備品および、マスク・消毒薬剤の確保する。	完了	マスクをはじめとする防護器材等の購入、発熱者隔離用の仮設間仕切りの購入など、感染予防、感染拡大防止に資することが出来た。	2,369,669	2,369,000		669
2	公共的空間安全・安心確保事業	介護施設での感染防止・衛生強化用備品、リモート面会用備品の整備費用を補助する。	完了	感染症の拡大を予防することができ、施設利用者の安全を保つことができた。町内所在の7施設に補助。	586,280	586,000		280
3	社会システム維持のための衛生確保事業	救急出動時感染防止用資材を確保する。	完了	救急隊員自身が感染しないよう、また感染を他者へ拡大させないよう感染防止対策を確立し、整備することができた。	1,657,019	1,656,000		1,019
4	防災活動支援事業	感染防止、衛生環境保持用資材を災害用に備蓄する。	完了	災害時の避難所等での感染防止のためのマスクやアルコール等を備蓄することができた。また、各集団の場での感染予防対策を実施することができた。	5,932,961	5,932,000		961
5	事業継続支援助成事業	休業や経済活動の低迷により、売上が減少している中小企業・小規模事業者に対し、一律で支援金を支出し、更に飲食、宿泊等事業者には上乘せして支援金を支出する。	完了	感染症拡大により経営に影響が及んだ地元事業者に対し、事業継続を図るため支援金を支出した。支援件数 102件	16,751,896	16,751,000		896
6	地域経済活性化事業	打撃を受けた地域経済をプレミアム商品券の発行により町内消費を喚起し活性化する。	完了	地域内消費を喚起することで地域経済を維持することができた。流通金額 7,300万円	18,945,190	18,945,000		190
7	公立学校オンライン学習環境整備事業	臨時休校等の場合に、情報機器端末を利用した自宅学習ができる環境を整えるため、教職員の情報機器端末を整備する。	完了	教職員の情報機器端末を整備することにより、臨時休校時等の遠隔学習を想定した学習環境を整備することができた。	1,866,020	1,866,000		20
8	議会ICT推進事業	町議会関連の各種会議等、人が密集する場における感染拡大防止対策としてオンライン会議が可能なシステムを段階的に構築する。	完了	感染症の拡大を予防することができた。	1,627,736	1,627,000		736
9	公共施設手洗非接触化事業	公共施設、教育施設、町有施設の手洗い用カランのハンドルを赤外線センサーに替え、自動化することにより接触機会を減少させる。	完了	感染症の拡大を予防することができた。	16,060,000	16,060,000		
10	ふるさと増毛産品PR事業	ふるさと納税を入口に、多くの人へ増毛町地場産品、加工品の認知度を向上させ、特産品の販売を向上させる。	完了	地域産産を支援することができた。	1,770,591	1,570,000		200,591
11	居酒屋推奨店スタンプラリー事業	増毛町居酒屋推奨店3店舗（札幌駅前海鮮酒蔵二一海鮮居酒屋海だより 北海道増毛町魚鮮水産すすきの店）を利用した人に抽選で増毛町の特産品をプレゼントし、コロナ終息後への来町気運を高める。また同3店舗にて本町特産品を食材としたメニューを出すイベントを実施し、COVID19収束後の本町観光を誘因する。	完了	推奨店3店舗を巡るスタンプラリーを実施、推奨店の応援と来店者に対して増毛町をPRすることができた。スタンプラリー参加者115名 商工観光支出282,127円	1,750,626	1,516,580		234,046

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と事業効果

No.	事業名	主な内容	実施状況	事業効果	決算額 (円)	財源内訳(円)		
						臨時交付金	その他の 特定財源	一般財源
12	公共交通維持事業	新型コロナウイルス感染症による自粛等の影響により、増毛町内を運行している路線バスの運送収入が激減しており、事業継続が厳しい状況となっているため、留萌増毛間の地域間幹線系統及び別荘雄冬間の市町村単独路線に対し支援金を交付することにより町民の足を守る。	完了	公共交通を維持することができた。	3,708,000	3,708,000		
13	Web会議環境構築事業	Web会議等への参加する際のセキュリティ基準を満たすためにネットワーク回線を整備し、専用端末(ノートPC)を用意する。	完了	感染症の拡大を予防することができた。	374,192	365,000		9,192
14	上下水道基本料金免除事業	水道・簡水及び下水道会計に繰り出し、基本料金減免に要する費用を交付対象経費とする。	完了	地域経済を維持することができた。	19,446,485	19,446,000		485
15	増毛産米PR事業	今年度から栽培する特別栽培米(ゆめぴりか)や増毛産ななつぼしのオリジナル米袋を作成し、多くの消費者に北海道屈指の「高品質・良食味米」をPRすることで、今後の販売ルートの開拓と生産者の経営安定を目的とする。	完了	特別栽培米(ゆめぴりか)や増毛産ななつぼしのオリジナル米袋6,100枚、ステッカー2,000枚を作成し、多くの消費者に北海道屈指の「高品質・良食味米」をPRすることができた。販売ルートの開拓と生産者の経営安定を図ることができた。	610,060	610,000		60
16	農産物販売促進事業	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い大きな影響を受けている農業を営む法人及び事業者に対して、農産物等にかかる配送料を助成し、販売を促進することにより、事業継続を支援し地域経済を活性化させる。	完了	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い大きな経済的影響を受けている農業を営む法人及び事業者に対して、農産物等にかかる配送料をのべ8,655件分を助成し、販売を促進することで事業継続を支援し、地域経済を活性化することができた。	7,899,233	7,899,000		233
17	農業事業継続支援事業	新型コロナウイルス感染症により事業経営に影響を受けた、本町に事業所を有する農業者の事業の継続を支援することを目的に農業事業継続支援金を交付する。	完了	新型コロナウイルス感染症により事業経営に影響を受けた、本町に事業所を有する農業者の事業の継続を支援することを目的に、75名の農業者へ農業事業継続支援金を交付した。	2,800,000	2,800,000		
18	増毛産水産品PR事業	新型コロナウイルス感染拡大により、魚価の低迷及び飲食店業種の営業自粛や時短等により生鮮魚介類の流通が低迷しているため、増毛産の魚介類と漁師の力水等の詰め合わせギフトセットを期間・数量限定で地方発送を中心に販売し、新たな消費者の開拓の取組みに対し支援する。	完了	新型コロナウイルス感染拡大により、魚価の低迷及び飲食店業種の営業自粛や時短等により生鮮魚介類の流通が低迷しているため、増毛産の魚介類と漁師の力水等の詰め合わせギフトセット2種を期間・数量限定で地方発送を中心に延449個販売してきたことで、新たな消費者の開拓の取組みにつながり、地域産業を支援することができた。	215,373	215,000		373

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と事業効果

No.	事業名	主な内容	実施状況	事業効果	決算額 (円)	財源内訳 (円)		
						臨時交付金	その他の 特定財源	一般財源
19	漁業事業継続支援事業	新型コロナウイルス感染症により需要が落ち込み、魚価が下落し事業経営に大きな影響を受けた漁業者の事業の継続を支援することを目的に漁業事業継続支援金を交付する。	完了	新型コロナウイルス感染症により需要が落ち込み、魚価が下落し事業経営に大きな影響を受けた漁業者の事業の継続を支援することを目的に、漁業事業継続支援金を対象となった64名の漁業者に交付してきたことで、漁業の廃業を防ぐことができた。	8,000,000	8,000,000		
20	増毛産品販売促進事業	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い大きな影響を受けている農水産加工品、酒類を取り扱う事業者に対して、個人への増毛産品の配送料を助成し、販売を促進することにより、事業継続を支援し地域経済を活性化させる。	完了	新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが減少した小売業者に対し、地元特産品の配送料を定額で助成する事で売上げの確保及び地域経済の活性化を図ることができた。 助成件数 9,000件	7,939,489	6,400,000		1,539,489
21	増毛駅電子看板設置事業	増毛駅内にデジタルサイネージ（電子看板）を設置し、観光動画や観光情報を流すことにより、非接触型の観光案内を推進する。	完了	デジタルサイネージを1台購入し非接触型の観光案内を推進した。	264,000	264,000		
22	観光バスツアー応援事業	バスツアー参加客に対し、1人1,000円分の商工会商品券を配布し、町内のお土産消費を喚起する。	完了	バスツアー参加者に1人1,000円分の商工会商品券を配付し町内消費を喚起することができた。 21ツアー 341名	341,000	341,000		
23	レンタルサイクル事業	電動アシスト自転車を購入し、歴史的街並み、最北の酒蔵、最北の果樹園群等を巡る観光コースに観光客を誘客する。	完了	レンタルサイクル用電動アシスト自転車を2台購入し新しい旅のスタイルに合わせた環境整備を図った。	273,440	273,000		440
24	災害・緊急時感染予防事業	新型コロナウイルス未終息下での災害発生に備え、避難所での感染拡大予防対策として、間隔を2m保つため、文化センター（大ホール・中ホール）及び体育館（1階・2階小体育室）に分散して避難所を開設することを想定し予防資材等を備蓄する。一般用の不織布マスクは備蓄しているが、子供用がないため購入する。	完了	災害時の避難所等での感染防止のための予防資材を備蓄することができた。また、子どもの感染対策として子ども用マスクを備蓄し、こども園の感染予防対策に使用することができた。	6,052,705	6,051,000		1,705
25	リモート学習環境整備事業	増毛町立文化センターにインターネット回線を増設し、休校時のオンラインリモート学習の際には、文化センターの会議室等を開放し、自宅にWi-Fi環境のない児童生徒に対しリモート学習環境を提供する。	完了	自宅にWi-Fi環境のない児童生徒に対しリモート学習環境を提供するため、増毛町立文化センターにインターネット回線を増設し、会議室等を開放しリモート学習ができる環境を提供した。	791,450	791,000		450
26	GIGAスクール加速化事業	GIGAスクール構想の加速・強化のため環境整備を行う。○光回線の増設、セキュリティ対策 ○GIGAスクール用備品整備 ○リモート学習用備品整備	完了	ネット回線の増設、リモート学習に対応した環境を整備することにより、教育の機会を提供できた。	3,018,525	3,018,000		525
27	教育環境感染予防事業	こども園の感染予防を目的とする備品を購入する。	完了	感染予防を目的とする備品の購入により、園児の検温に係る時間の大幅な削減につながったため、感染症の拡大を予防することができた。	844,250	844,000		250

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と事業効果

No.	事業名	主な内容	実施状況	事業効果	決算額 (円)	財源内訳 (円)		
						臨時交付金	その他の 特定財源	一般財源
28	欠番							
29	公共施設感染予防事業	事業、イベント時の換気を強化するためにサーキュレーターを購入する。	完了	感染症の拡大を予防することができた。	176,000	176,000		
30	文化スポーツ団体補助金事業	町内で活動する文化芸術団体及びスポーツ団体に対し、活動自粛期間からの再開と継続を支援するため、感染拡大防止に係る経費を助成する。	完了	町内で活動する文化芸術団体及びスポーツ団体に対し、各団体が活動自粛期間後に感染症の拡大防止を図りながら活動を再開するため、各団体が必要とする経費を調査し助成した。	161,540	161,000		540
31	音声ガイド導入事業	元陣屋の展示施設及び旧商家丸一本間家、駅前通りの歴史的建造物、町内各史跡の音声ガイドを作成することにより、スタッフと来館者間の感染を予防し、且つ観光客の利便性を向上させる。	完了	感染症の拡大を予防することができた。	897,600	897,000		600
32	図書館電子化事業	図書室において、図書室の蔵書状況をオンラインでも確認できるようホームページを再構築する。また、多くの利用者の手に触れる図書の消毒及び殺菌を徹底するため、紫外線を用いた除菌ボックスを設置し、返却された図書の殺菌を行う。	完了	感染症の拡大を予防することができた。	722,013	722,000		13
33	温水プール感染予防事業	温水プールで現在使用されているスノコ、人工芝について、形状特性や経年劣化により雑菌が繁殖しやすい状況のため、感染症拡大防止のため新たな化粧性防水材を敷設する。 また温水プールで現在使用されている水槽について、塗膜が劣化し剥離及び漏水が多発しており、剥離した塗膜の浮遊などにより利用者に対する衛生面での確保が難しい状況となっているため、プール槽の防水改修工事を実施する。	完了	温水プールで使用されているスノコ、人工芝について、感染症拡大防止のため新たな化粧性防水材を敷設し、形状特性や経年劣化により雑菌が繁殖しやすい状況を改善したことで感染症の拡大を防止することができた。 また、水槽については剥離した塗膜の浮遊などにより利用者に対する衛生面での確保が難しい状況であったが、プール槽の防水改修工事を実施したことで、コロナ渦においても閉館することなく開館し続けることができた。	14,652,000	14,652,000		
34	診療所電子化事業	電子カルテシステムを導入し、情報の電子化と医療従事者の負担を軽減し、受診者の待ち時間を短縮する。	完了	電子カルテシステム導入により、医療従事者の負担減はもとより、会計がスムーズに行われ待ち時間短縮となったことにより、染拡大防止へと繋がった。	24,717,000	24,717,000		
35	明和園感染防止事業	入所者・外来者及び施設内の洗浄・除菌対策等の強化を目的として洗浄水・除菌水生成装置を購入する。また、見守りセンサー・カメラ付きの電動ベッドを整備して感染予防と介護従事者の負担を軽減する。	完了	洗浄水・除菌水生成装置から作り出される次亜塩素酸水を活用し、徹底した除菌対応により、感染症の拡大を予防することができた。また、見守りセンサー・カメラ付きの電動ベッドを整備したことにより、離れた場所での見守りが可能となり、必要最低限の接触を保ち、感染症拡大を予防することができた。	21,719,500	21,719,500		

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と事業効果

No.	事業名	主な内容	実施状況	事業効果	決算額 (円)	財源内訳 (円)		
						臨時交付金	その他の 特定財源	一般財源
36	新型コロナウイルス飲食業対策事業	休業や経済活動の低迷により、事業継続が困難となった飲食店に対し支援金を支出する。	完了	外出自粛等の影響で売上げ減少となった飲食店の廃業を防ぐことができた。支援件数26件	2,662,952	2,662,000		952
37	接客感染防止対策事業	接客窓口、接客スペース等で感染防止にかかる設備、備品（パーティション、サーキュレーター等）の設置にかかる経費の3分の2を助成する。	完了	地元事業者に対し感染予防策に要した経費を助成した。助成件数 45件	1,602,016	1,602,000		16
38	公立学校情報機器整備費補助金	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現するため小学生、中学生への端末およびソフトの整備する。	完了	小中学校児童生徒に端末及びソフトを整備することにより、臨時休校時等の遠隔学習を想定した学習環境を整備することができた。	17,440,300	6,286,000	7,435,000	3,719,300
39	光ブロードバンド整備事業	増毛町内で光ブロードバンド未整備地区（岩尾・雄冬エリア）に光回線を整備し、光ファイバ利用可能世帯率を100%とする。	完了	感染症の拡大を予防することができた。	21,981,935	21,981,935		
40	無線システム普及支援事業費等補助金	増毛町内で光ブロードバンド未整備地区（岩尾・雄冬エリア）に光回線を整備し、光ファイバ利用可能世帯率を100%とする。	完了	感染症の拡大を予防することができた。	41,746,100	16,698,440	20,873,000	4,174,660
41	学校保健特別対策事業費補助金	感染症予防のため学校等の保健衛生用品等の整備を行う。	完了	感染症対策に必要なマスク等の購入により、感染症の拡大を予防することができた。	79,492		38,000	41,492
42	学校保健特別対策事業費補助金	臨時休校となっていた各学校の再開に際し、感染症対策を実施しながら学校教育活動をするための整備を行う。	完了	感染症対策備品や消耗品の購入により、児童生徒等の感染リスク低減が図られ、安心して学校教育活動を行うことができた。	4,090,080		2,000,000	2,090,080
43	介護・医療施設職員PCR検査実施事業	介護・医療施設等で従事するの職員にPCR検査を実施し、介護・医療利用者の安全を確保する。	完了	感染者の早期発見に効果があり、感染症の拡大を予防することができた。 ※検査キット 231個（学校関係含まず）	540,650	540,000		650
44	発熱外来用診療室開設事業	町立診療所に発熱外来患者を診察するにあたり、一般の外来患者との接触を避けるため、臨時診察室として、スーパーハウスを借り上げる。	完了	スーパーハウスを借り上げることにより、発熱患者と一般患者をより分け、発熱患者を診察しスムーズに検査が実施出来たことにより感染拡大防止に寄与出来た。	468,470	468,000		470
45	新型コロナウイルス飲食業支援事業	年末年始を始めとする外食、宴会の低迷により、事業継続が困難となり、かつ事業継続の意志がある飲食店および酒類小売販売店に対し支援金を支出する。	完了	外出自粛等の影響で売上げ減少となった地元飲食業者及び酒類販売店に支援金を支出し、事業継続を支援することができた。支援件数 22件	6,020,000	6,020,000		
46	スクールバス等運行業務継続補助金	イベント、行事の中止等により減収のため、事業所の継続運営が危ぶまれるスクールバス運行委託事業者に支援金を支給することにより、事業の継続運営・運転手等の雇用確保を図る。	完了	助成対象事業者の廃業を防ぐことができた。	3,852,360	3,852,000		360

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と事業効果

No.	事業名	主な内容	実施状況	事業効果	決算額 (円)	財源内訳 (円)		
						臨時交付金	その他の 特定財源	一般財源
47	指定管理宿泊施設事業継続補助金	イベント、行事、宴会の中止、宿泊者の減少による減収のため、事業所の継続運営が危ぶまれる指定管理宿泊施設事業者へ支援金を支給することにより、雇用の継続と事業の継続を支援する。	完了	助成対象事業者の廃業を防ぐことができた。	10,983,376	10,983,000		376